

PENTAX®

67

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

このたびは、ペンタックス 6 7 をお買い上げ
くださいまして、誠にありがとうございます。
6 7 は120タイプおよび220タイプのロールフ
ィルムを使う、55ミリ×70ミリのゆとりある
画面サイズの中型一眼レフカメラです。
ご使用の前に、この使用説明書をよくお読み
のうえ正しくお使いください。



各部の名称は表紙と裏表紙の内側に記載して
ありますので、図のように開いて各ページを
読みながらか覧ください。

色枠内 の文章は補足説明と注意事項です。
注意事項には●マークが付いていますので、
特に気を付けてお読みください。

6 7 の性能は、SMCペンタックス・タクマー交
換レンズ群と専用アクセサリーを使ってこそ最大
限に発揮されます。ペンタックス用として作られ
ている他社製品を併用されますと、故障や予期に
反した結果になることがありますので、ペンタッ
クス製品をご使用ください。

本文中の写真・イラストは、実際の製品と異なる
場合がございます。

ご注意

- 6 7 は電池を入れないと作動しません。下
記のどちらかの電池をご使用ください。
〔3～5 ページ参照〕
4LR44形アルカリマンガン電池
4SR44形酸化銀電池
- カメラに付いている電池は、工場出荷時の
サンプル電池です。電池の自然放電のため
容量が少なくなっている場合があります。
- ご使用のフィルムに合わせて、必ず圧板と
枚数切り替えダイヤルのセットをしてくだ
さい。〔13～14ページ参照〕
- フィルムは手順に従って、正しく入れてく
ださい。〔15～19ページ参照〕



目次

各部名称〔表紙・裏表紙折り込み〕

カメラを安全にお使いいただくために…… 1

撮影準備

ストラップの取り付け方…………… 2
 電池の入れ方…………… 3～5
 ファインダーの交換…………… 6～7
 レンズの取り付け・交換…………… 8～9
 空シャッターの切り方…………… 10～11

フィルムの入れ方

120/220の切り替え…………… 13～14
 フィルムの入れ方…………… 15～19
 フィルムの取り出し方…………… 20

基本操作

シャッター…………… 22～23
 絞り…………… 24
 カメラの構え方…………… 25
 視度調整とピント合わせ…………… 26～27
 露出…………… 28

応用操作

バルブ・タイム撮影…………… 30
 ミラーアップ…………… 31
 ストロボ撮影…………… 32～33
 被写界深度…………… 34
 赤外線指標…………… 35
 アクセサリー…………… 36～41
 取り扱い上の注意…………… 42
 保管上の注意…………… 43
 こんなときは？…………… 44～45
 交換レンズ一覧表…………… 46
 仕様…………… 47
 お問い合わせは…………… 48～49
 アフターサービスについて…………… 51

カメラを安全にお使いいただくために

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

⚠ 警告

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

⚠ 注意

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

⊘ は、禁止事項を表わすマークです。

⚠ は、注意を促すためのマークです。

⚠ 警告

⊘ ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。

⊘ 望遠レンズを付けた状態で長時間太陽を見ないでください。目を痛めることがあります。特にレンズ単体で直接太陽を見ないでください。失明の原因になります。

⚠ 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

⊘ 電池をショートさせたり、火の中に入れてください。また、分解や充電をしないでください。破裂・発火の恐れがあります。

⊘ 電池は＋の向きを逆にしないでください。向きを間違えると、液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。

⚠ 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。この場合、やけどに十分ご注意ください。

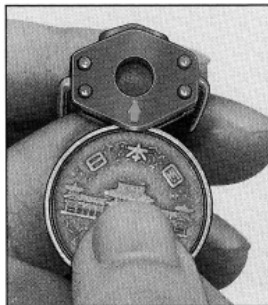
1

撮影準備

ストラップを、ボディの吊り金具に取り付けます。

ストラップの取り付け方

1



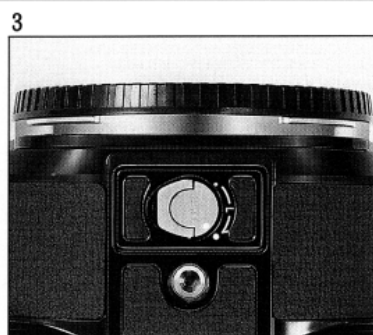
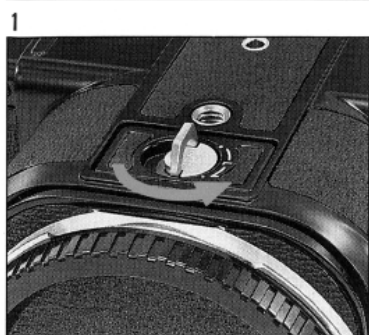
2



1. 写真のように、コインなどでストラップの取り付け金具のロック板を矢印の方向に押してロックを解除します。
2. 取り付け金具の矢印のある側を表にして吊り金具に差し込みます。ロック板を元に戻してロックしてください。
3. ストラップの長さの調整は、ストラップ留め具で行います。

ストラップの取り付け・調整が終了したら強く引いて、取り付け具合を確認してください。

電池の入れ方



必ず下記のどちらかの電池をご使用ください。

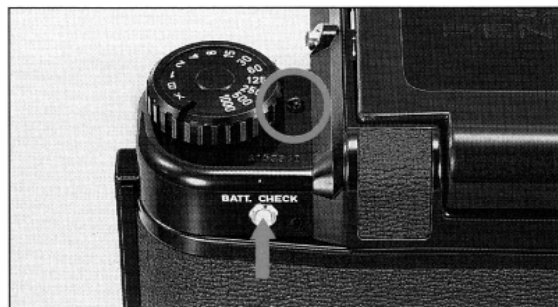
4LR44形アルカリマンガン電池

4SR44形酸化銀電池

- 電池を逆に入れたり、電池を入れないでシャッターを切ると安全機構が働いてミラーが途中で止まります。
- ミラーが途中で止まっている状態で新品電池を入れると消耗します。必ずミラーを復元させてから電池を交換してください。ミラーの復元方法は、4ページを参照してください。

1. クランクをを起こして左に回し、電池ケースを取り出します。
2. 電池〔1個〕を電池ケースに差し込んで、⊕と⊖を電池室のマークに合わせて入れてください。
3. クランクを矢印の方向へ、赤点が会うところまで回してロックし、収納します。

3



電池の確認

バッテリーチェックボタンを押して、赤ランプが点灯することを確認してください。赤ランプが点灯しないときは、速やかに新品電池と交換してください。



ミラーの復元方法

安全機構解除ボタンをボールペンの先などで押してミラーを上げてからシャッターを切ります。1枚は空写しになります。

- 電池が消耗し切ると安全機構が働いてミラーが途中で止まります。
- バッテリーチェックボタンを必要以上に頻繁に押すと電池の消耗を早めます。
- 赤ランプが点灯しなくなってもしばらくは作動しますが、シャッター速度が不安定になります。速やかに電池を交換してください。

4

電池について

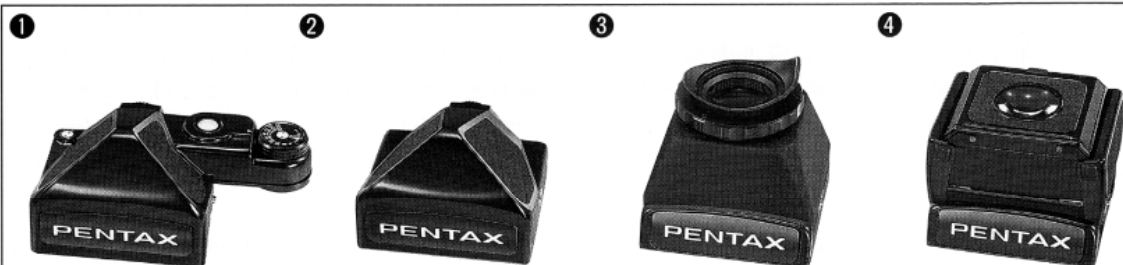
- 4LR44形アルカリマンガン電池あるいは、4SR44形酸化銀電池を使用します。⊕⊖を正しく合わせて入れてください。
- 電池の寿命はアルカリマンガン電池で約6カ月、酸化銀電池で約1年です。ただし、TTLペンタプリズムを使用するときは、電源がボディと共用のため、上記より短くなります。
- 低温では、一時的に電池の性能が低下して容量不足になることがあります。常温に戻れば再び使用できます。別売りの67用バッテリーコードを使用すれば、電池を保温しながらカメラを操作できます。

- 海外旅行・寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。
- カメラを長期間使わないときは、カメラから電池を出しておいてください。古くなった電池は液もれを生じ、カメラの故障の原因になることがあります。
- カメラに付いている電池はサンプル電池です。電池の自然放電のため容量が少なくなっている場合があります。



5

ファインダーの交換

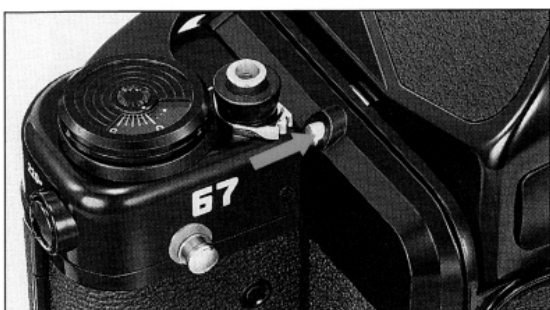


67には、アイレベルタイプの①TTLペンタプリズム、②ペンタプリズムとウェストレベルタイプの③固定ピントフード、④折りたたみピントフードの4種類の交換ファインダー〔いずれも別売〕があります。

取り付け方：

各ファインダーともボディのファインダー枠に正しく合わせて、カチッと音がするまで押し込んで取り付けます。取り付け後、念のため確実に固定されているか確認してください。

- TTLペンタプリズムを取り付けるときは、必ず一旦ボディからレンズを外してください。レンズが付いたままでは、絞り連動ピンがかみ合わず、露出計が作動しません。



外し方：

ファインダー着脱ボタンを両側から押し込んで取り外します。



ファインダー視野：

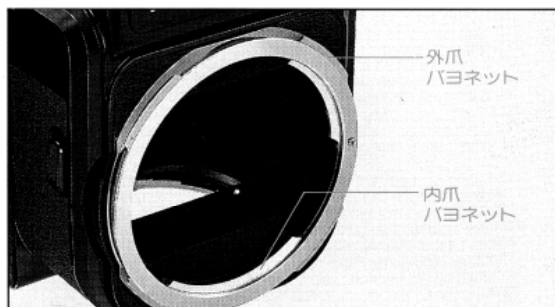
TTLペンタプリズムおよびペンタプリズムでは、縦横とも写る範囲の約90パーセントが正像として見えます。

ウェストレベルファインダーの場合は、ほぼ100パーセントの視野となりますが、左右逆像です。

- ファインダーを付けずに撮影すると、フィルムにカブリを生じることがあります。
- 折りたたみビントフード等を使用するときは、ファインダーに直接太陽光のような強い光を入れないでください。

7

レンズの取り付け・交換



67は専用ダブルマウント方式です。自動絞りが使用できる内爪と大型レンズ用の外爪があります。

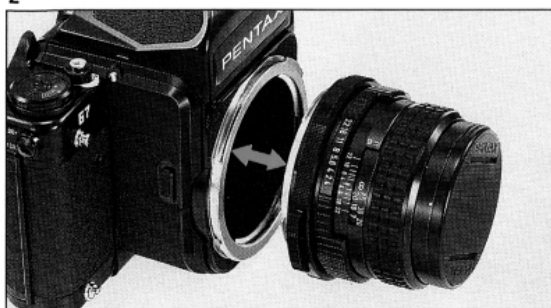
ここでは、内爪バヨネットについて説明します。大型望遠レンズを除き、ほとんどのレンズ及びアクセサリーは内爪バヨネットで取り付けられます。



1. カメラとレンズのマウントキャップを外します。どちらのキャップも、左に止まるまで回せば外せます。

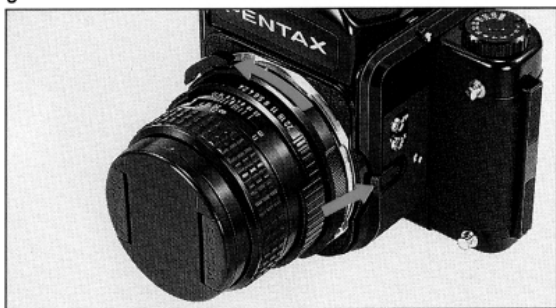
外爪バヨネットレンズについては、使用説明書「S MCペンタックス・タクマー67交換レンズの使い方」をご覧ください。

2



2. ボディとレンズの赤点を合わせてはめ込み、レンズを右に止まるまで回します。カチッという音が生じて、ロックされます。

3



3. レンズを外すときは、レンズロックレバーをボディ側に押しながら、レンズを左に回します。

●外したレンズには、ゴミや汚れが付かないようにレンズキャップとレンズマウントキャップを付けましょう。

9

空シャッターの切り方

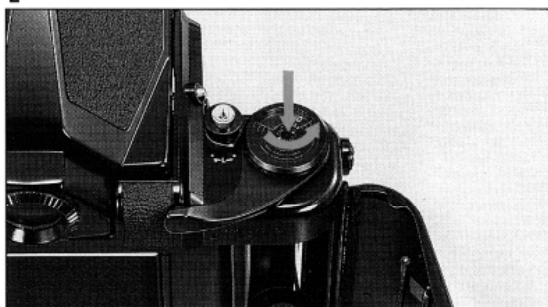
1



6 7 は、空シャッターのセットをしないかぎり、フィルムを入れなければシャッターが切れません。

空シャッターのセットは、つぎの 2 通りの方法で行えます。

2

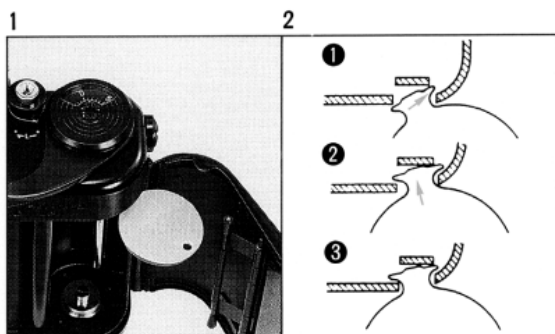


A] 裏ぶたを閉じて切りたいとき：

1. 裏ぶたの開放レバーを引いて、裏ぶたを開けます。
2. フィルムカウンター中央のカウンター作動盤を押しながら、1 以上の目盛りになるまで左に回します。



3. カウンター作動盤を押さえたまま裏ぶたを閉じます。巻き上げレバーをいっぱい回すとシャッターがセットされます。



B) 裏ぶたを開いたまま切りたいとき：

1. 一旦、A) の方法でシャッターをセットします。
2. 裏ぶたを開け、写真のように、巻き上げレバー下の溝に付属のシャッター作動板の先を差し込むと、裏ぶたを開いたまま空シャッターを切ることができます。

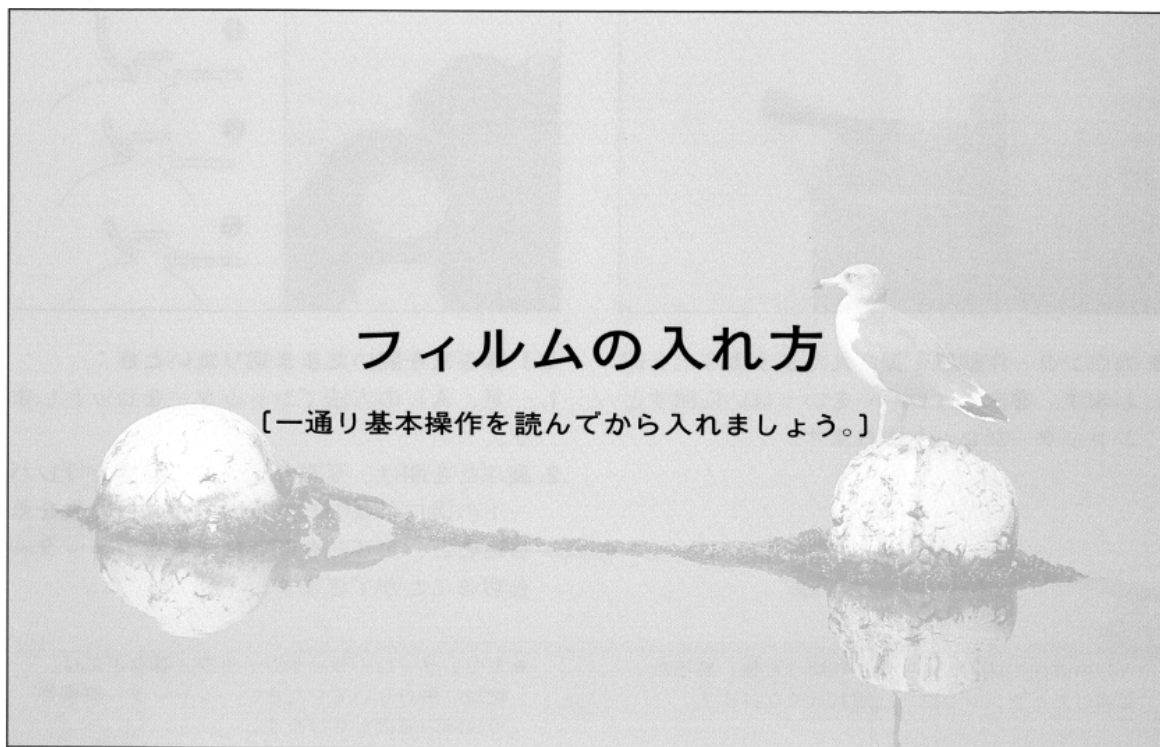
A) の方法では、シャッターを切った後、裏ぶたを開けると空シャッターが切れなくなります。

● カウンターローラーやシャッター幕などには、絶対に触れないでください。シャッター機構等の故障の原因となります。

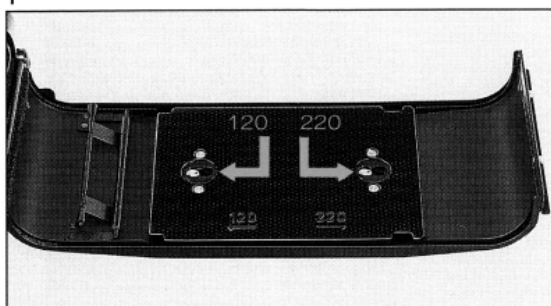
11

フィルムの入れ方

【一通り基本操作を読んでから入れましょう。】



1



6 7は、120タイプ〔10枚撮り〕あるいは220タイプ〔20枚撮り〕のどちらのロールフィルムも裏ふたの交換なしに使用できますが、使用フィルムに合わせて次の2つの切り替えが必要です。フィルムを入れる前に必ず確認してください。



1. 圧板のセット

裏ふたのフィルム表示窓に見える120、あるいは220の数字は使用フィルムの種類を表します。写真のように、裏ふたの圧板を押しながら左右に動かしてセットしてください。

- フィルムの厚さの違い〔120タイプは裏紙つき、220タイプはなし〕に対応するための切り替えです。圧板のセットを間違えると、巻き上げが重くなったり、ピントのズレが生じます。

13

2



2. 枚数切り替えダイヤルのセット

巻き上げレバーの横にある枚数切り替えダイヤルを硬貨などで回し、使用フィルムに合わせて、撮影可能枚数をセットします。〔120タイプは10枚、220タイプは20枚〕

- 誤ってセットし、最後まで直さなかった場合はフィルムの途中までしか撮影できなかったり、撮影したつもりでも実際には後半撮れていなかったりということになります。

120フィルムの場合



220フィルムの場合



誤ってセットしてしまった場合でも、9枚目までに合わせ直せば本来の枚数の撮影ができます。それ以後に合わせ直すと故障の原因になります。120タイプの6枚撮り用フィルム〔6 7では5枚撮影可能〕を使用した場合は、5枚撮影した後10枚目まで空シャッターを切って取り出してください。

フィルムの入れ方

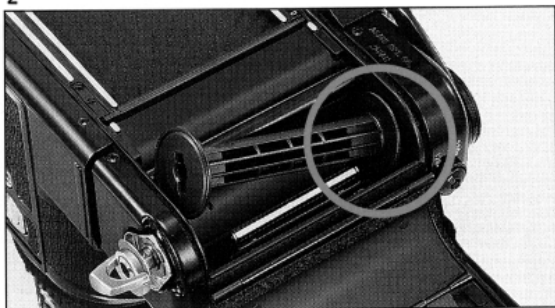
1



フィルムを正しく入れないと、巻き太りやタケノコ状になり、巻き上げができなくなることがあります。つぎの手順に従って正しくフィルムを入れてください。

- フィルム傷の原因になりますので、圧板は常にきれいにしておいてください。ごみや汚れが付いたときは、きれいな布で拭いてください。
- フィルムの出し入れは直射日光の当たらない所で行ってください。

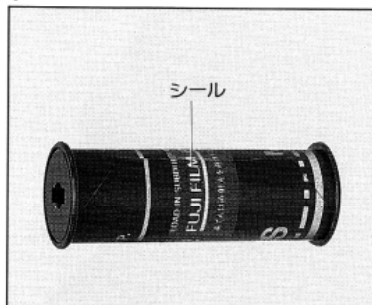
2



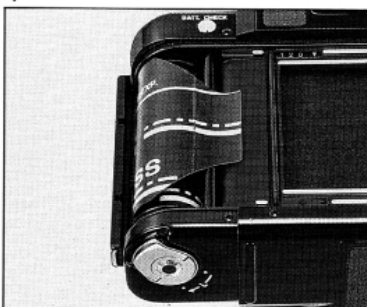
- 裏ぶた開放レバーを引いて、裏ぶたを開けます。
- 空のスプールを巻き上げレバー側のフィルム室に入れます。スプール受けのクランクを左に回して引き出し、スプール上部の軸受け穴をカメラの巻き取り軸の爪に合わせて差し込みます。スプール受けを押し込んで、クランクを右に回して収納します。

15

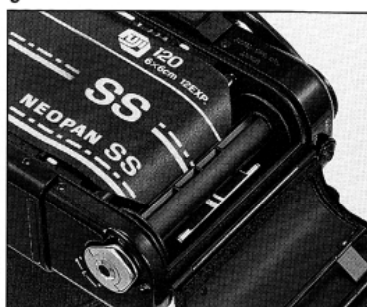
3



4



5



- フィルムを止めてある中央のシールを取り外します。〔シールの残りが無いように取ってください。〕
- シャッターダイヤル側のスプール受けを引き出し、空スプールと同様にフィルムを入れます。
- 巻き上げレバーを少し回して空スプールの溝を上向きにします。フィルムのリーダーペーパーを引き出して、先端部を溝に差し込んでください。

- シャッター幕に触らないでください。故障の原因になることがあります。

- 空スプールの反対側の溝から飛び出た先端部がスプールに巻きつくように指で押さえながらしっかり巻いてください。フィルムのゆるみ、太巻きの原因になることがあります。

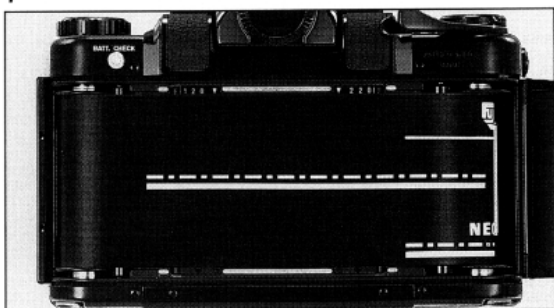
6



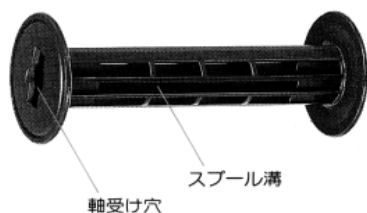
6. スプール溝に差し込んだリーダーペーパーを指で押さえながら、巻き上げレバーで1回巻きます。

●巻き取り側のスプールの逆転させないでください。故障の原因になります。

7

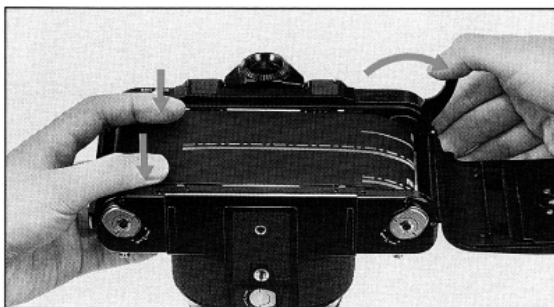


7. リーダーペーパーの両端がスプールのつばの間に正しく、真っすぐ巻かれていることを確認してください。曲っている場合は、やり直してください。



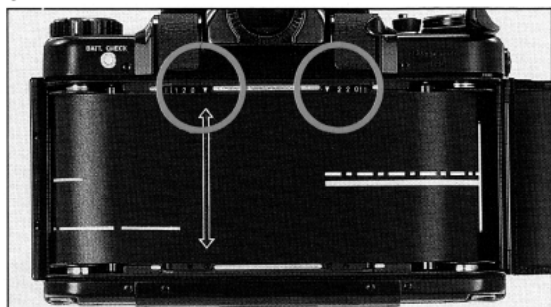
17

8



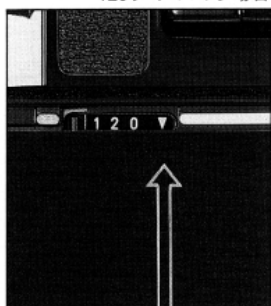
8. フィルムがたるまないように、フィルムを左手で軽く押さえながら巻き上げ、リーダーペーパーをスプール軸に固く巻きつけます。

9

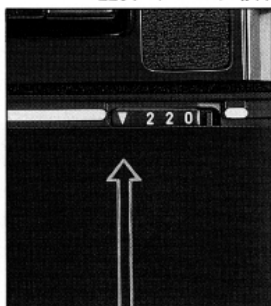


9. 何回か巻き上げを繰り返すとリーダーペーパーの矢印〔スタートマーク〕が出てきます。写真のように、120タイプでは120のマーカー、220タイプでは、220のマーカーと矢印を合わせて巻き上げを止めます。

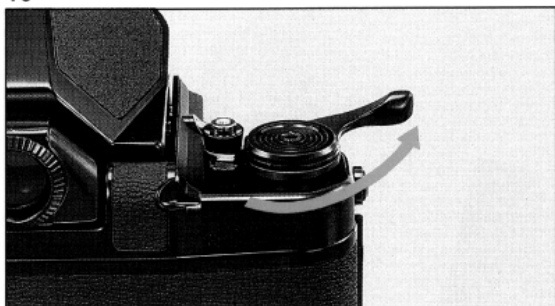
120フィルムの場合



220フィルムの場合



10



10. 裏ぶたを閉じ、フィルムカウンターが1枚目をさしてシャッターがセットされるまで巻き上げを繰り返します。フィルムカウンターは1回巻き上げる毎に1目盛り進み、撮影枚数を表示します。

- スタートマークを正しく合わせないと、フィルムの規定枚数が撮れないことがあります。
- フィルムによっては、スタートマークの前に点線が現われる事があります。スタートマークと間違えないようにご注意ください。

19

フィルムの取り出し方



120タイプで10枚、220タイプで20枚撮影した後は、巻き上げてもシャッターがセットされません。さらに数回巻き上げると、完全に巻き取りが終了し、手応えが急に軽くなります。

裏ぶたを開け、巻き取り側のスプールの上側のつばを軽く押しながらスプール受けを引きだし、フィルムの巻きがゆるまないように注意して取り出してください。リーダーペーパーの端を内側に折り、シールで止めます。

シール



- フィルムは、慎重に取り扱ってください。フィルムの巻きがゆるむと、かぶりが生じる事があります。逆に、過度の巻き締めは、フィルムに傷を付ける事があります。
- 撮影中に巻き上げが極端に重くなった時は、無理に巻き上げないで最寄りのサービスセンターへお持ちください。無理に巻き上げると故障の原因になることがあります。

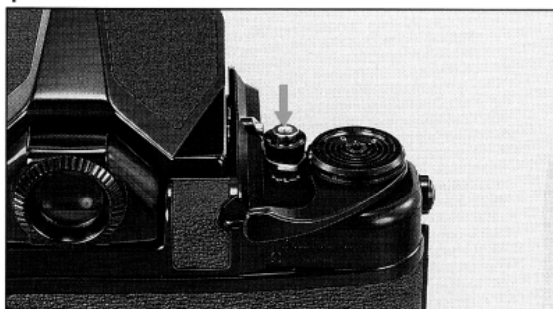
20

基本操作

21

シャッター

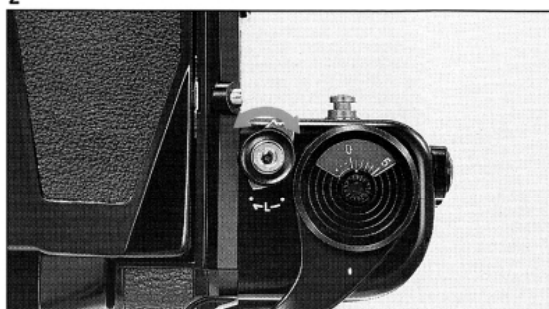
1



1. シャッターボタン

シャッターボタンは静かに押して撮影しましょう。ボタン座に静かに指を乗せ、シャッターチャンスに合わせて指の腹で軽くシャッターを切ります。微妙なシャッターチャンスを逃さず、また、カメラぶれ予防のためにぜひ練習してください。

2



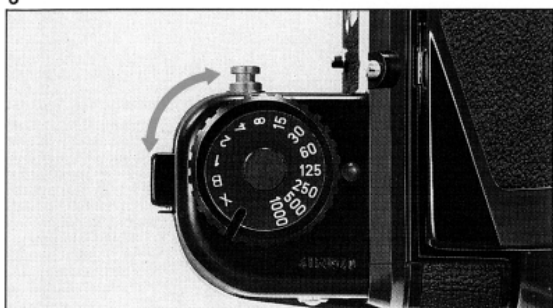
2. シャッターボタンロック

シャッターボタンロックレバーを赤マークに合わせてシャッターがロックされ、元に戻すと解除されます。

巻き上げ後に撮影を中断したときなどに不用意にシャッターが切れるのを防ぐためのものです。

●シャッターボタンの中央の穴は別売りのケーブルリリースを差し込んで使用するためのものです。

●シャッターボタンをロックしてもケーブルリリースではシャッターが切れてしまいます。



3. シャッター

シャッター速度はシャッターダイヤルを回し、シャッター速度指標にあわせてセットします。シャッター速度は、X、B、1秒～1/1000秒まであり、ダイヤルには分母の数字を表示してあります。

- シャッターダイヤルをクリックストップ以外のところに合わせてシャッターを切るとT〔タイム：シャッターが開きっぱなし〕になります。
- 巻き上げをしたまま数カ月も放置しておくとシャッターむらの原因になることがあります。

絞り



レンズの距離・絞り指標〔◇〕と向かい合う絞りリングの数字が絞り〔F値〕です。

F値とF値の間にクリックストップが付いていますので、各中間絞りも使用できます。JIS系列のF値とその中間絞りは次の通りです。

F値：

2・2.8・4・5.6・8・11・16・22・32・45

中間絞り：

2.4・3.4・4.8・6.7・9.5・13.5・19・26・38

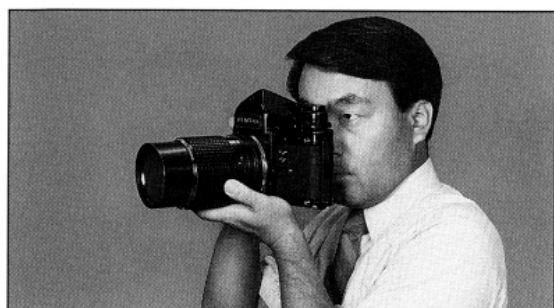


自動絞り

ペンタックス・タクマー67レンズは、数種を除いて、自動絞りになっています。

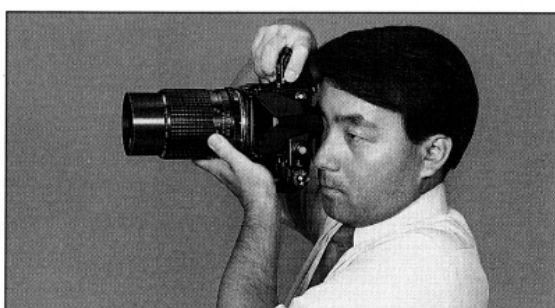
シャッターを切る瞬間だけあらかじめセットしたF値に絞られ、普段は開放絞りで被写体を見ることができます。

詳しくは、使用説明書「SMCペンタックス・タクマー67交換レンズの使い方」をご覧ください。



手持でカメラぶれない写真を撮るためにはカメラの構え方が大切です。フィルムを入れる前に練習してください。

基本的には、写真のように横位置と縦位置の2通りの構えがあります。いずれの構え方でも、カメラを顔や手で良く固定し、シャッターボタンは静かに押します。強く押すとぶれやすくなります。



足は、前後あるいは左右に少し開いて安定した姿勢を取ります。左腕のひじをからだに付けるようにしてください。木や建物、テーブルなどを利用して、からだやカメラを安定させるのもよい方法です。

スローシャッターで撮影するときや望遠レンズを使用するときは、しっかりした三脚に固定し、別売りのケーブルリリースをご使用ください。

25

視度調整とピント合わせ



1. 視度調整

正確なピント合わせの為、ファインダー像がよく見えるように視度調整が必要な場合があります。

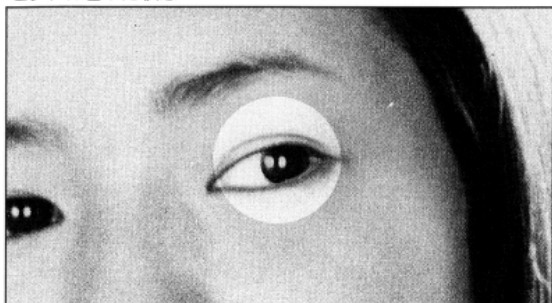
TTLペンタプリズムおよびペンタプリズムのファインダー視度は、 -1m^{-1} [毎メートル] ですから1m先の新聞の文字がはっきり見える方は大丈夫ですが、そうでない方は、別売りの視度調整レンズをご使用ください。

眼科等で視度を測ってもらう方法もありますが、当社サービス窓口で実際に視度調整レンズを装着して見ていただくのが最も早道です。

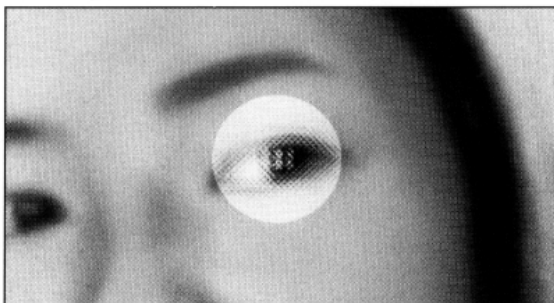
視度調整レンズの装着

接眼レンズの枠を左に回して外します。枠の内側のリングを矢印方向に回して外し、ガラス板と視度調整レンズを交換します。

ピントが合った状態



ピントが合っていない状態



2. ピント合わせ

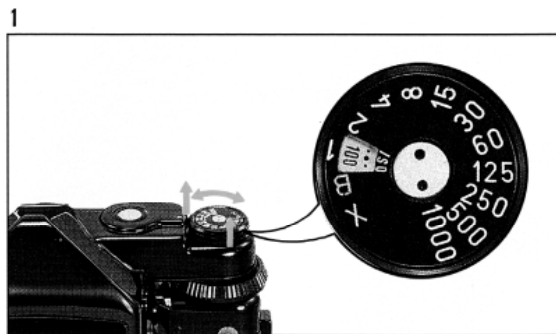
ファインダー像を見ながら、レンズの距離リングを回してピントを合わせます。

中央小円の部分がマイクロプリズムで、ピントが合うとギザギザの像がすっきりした像になります。マイクロプリズムの外の部分はマット面です。マイクロプリズムが使えないF5.6より暗いレンズを使用しているときなどは、マット面でピント合わせをします。

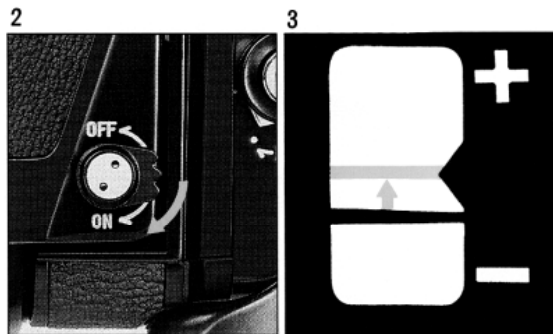
交換フォーカシングスクリーンについては、36ページをご覧ください。

27

露出



67は露出計を内蔵しておりませんので、撮影時には、TTLペンタプリズムか単体の露出計を使って被写体の明るさを測る必要があります。ここでは、TTLペンタプリズムを使用した場合の露出の決め方を説明します。



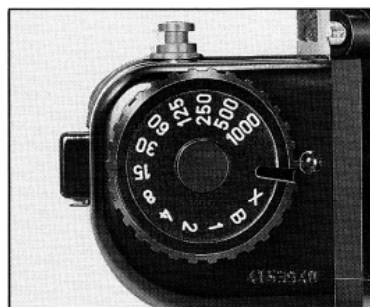
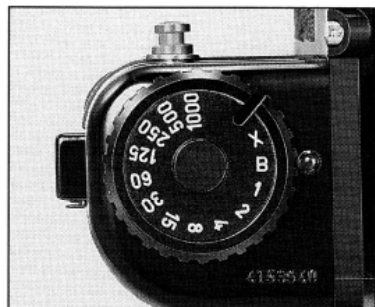
1. TTLペンタプリズムのシャッターダイヤルをつまみ上げ、回転させて使用フィルムのISO感度に合わせます。
2. ファインダー窓右のスイッチをONにして電源を入れます。
3. ファインダー内に写真のようなメーター指針が見えます。絞り、あるいはシャッター速度を調整して指針を中央に合わせると、被写体の明るさに応じた露出ができます。

● TTLペンタプリズムの詳細については、使用説明書「TTLペンタプリズムの使い方」をご覧ください。

応用操作

29

バルブ・タイム撮影



1. B〔バルブ〕撮影

バルブは、1秒を超える長時間露出のときに使用します。シャッターボタンを押している間シャッターが開きますので、花火、夜景、天体撮影などに使用できます。必ず三脚などに固定し、さらに別売りのケーブルリリースを使用してカメラぶれを防いでください。

2. T〔タイム〕撮影

シャッターダイヤルのクリックとクリックの間〔Xと1/1000の間など〕を使ってタイム撮影が行えます。クリックに合わせ直すまでシャッターが開き続けますので、ケーブルリリースを使わずに長時間露出ができます。

- 67の三脚穴の深さはJIS規格の5.5ミリです。これより長いネジを無理にねじ込むと故障の原因になります。

- 67はシャッターが開いている間は電池を消耗します。連続使用時間は、新品の4SR44形酸化銀電池で最長約5時間〔常温常湿〕です。

ミラーアップ



ミラーを上げて、シャッターを切る際のショックを少なくします。1/60秒より遅いシャッター速度での撮影や、オートベローズおよび接写リング、300ミリ以上の望遠レンズを使用する撮影などでは、大変有効です。



使い方：

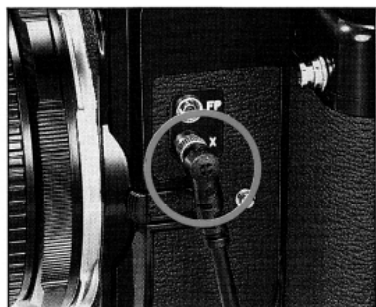
シャッターをセットして、構図とピントを合わせてからミラーアップレバーを押し上げると、ミラーが上がります。シャッターを切るとミラーも元の位置に戻ります。

●L S内蔵レンズのL Sシャッター使用時は、ミラーアップはできません。

●ミラーアップを長時間続けると電池が早く消耗してしまいます。新品の銀電池で最長約5時間〔常温常湿〕です。

31

ストロボ撮影



ストロボ

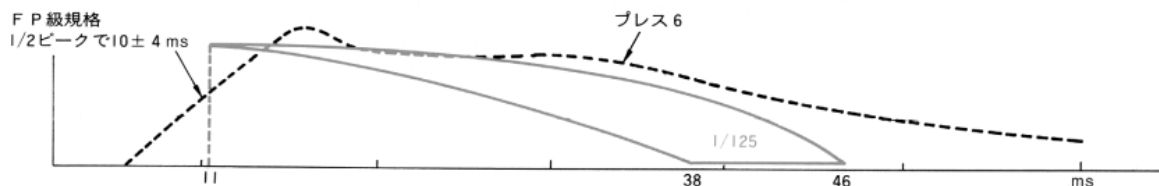
J I SタイプのプラグのシンクロコードをXターミナルに接続して使用します。

1/30秒以下のシャッター速度で同調します。

ペンタックスAF400Tを使用する場合は、67 AF400T用ブラケットと組み合わせて、4PシンクロコードCで接続します。

ホットシュータイプのストロボは、ホットシューグリップを使用してAF400Tと同様に取付けるか、67グリップと645ホットシューアダプターLSを組み合わせて使用できます。

シャッター速度		1/1000	1/500	1/250	1/125	1/60	1/30	1/15	1/8	1/4	1/2	1	X
ターミナル	X						ストロボ						
							M級・MF級						
	FP	FP級					FP級						



フラッシュバルブ〔閃光電球〕

フラッシュバルブは、写真のようにXターミナルかFPターミナルに接続して使用します。

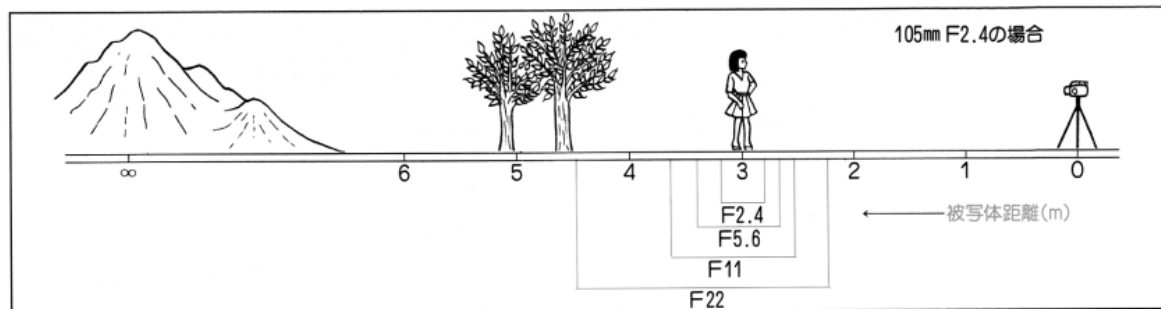
Xターミナルに接続する場合

M級およびMF級の閃光電球は1/15秒以下、FP級は1/8秒以下のシャッター速度で使えます。

FP級ターミナルに接続する場合

現在市販されているFP級では、残念ながら完全に同調するものではありません。国産FP級のプレス6は、黑白フィルムであれば図のように1/125-1/250秒で使用できます。

被写界深度



被写体にピントを合わせると、被写体の前後にもピントが合う範囲があります。この範囲を被写界深度といいます。

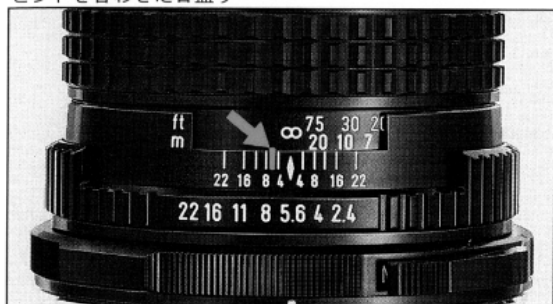
被写界深度は、レンズの被写界深度目盛りで読み取ることができます。また、ペンタックスやタコマー67の自動絞り交換レンズの場合、自動絞り解除レバーを〔MAN.〕に合わせて、ファインダーで直接確認することもできます。

被写界深度の性質

1. 同一レンズで、撮影距離が同じなら絞りを絞り込むほど被写界深度は深くなります。
2. 同一レンズで、同じF値なら被写体があるほど被写界深度は深くなります。
3. 同一距離のものを写すとき、同じF値なら焦点距離の短いレンズほど被写界深度は深くなります。

赤外線指標

ピントを合わせた目盛り



赤外線写真は赤外線フィルムとR2、またはO2フィルターを使えば誰でも撮影できますが、可視光と赤外光のピント位置が異なるためピント補正が必要です。

赤外線指標まで移動

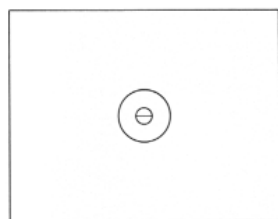


ファインダーでピントを合わせて距離目盛りを読み取り、距離リングを回して写真のように赤外線指標に合わせます。

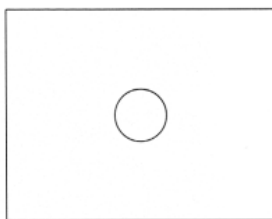
露出についてはフィルムの説明書をご覧ください。

35

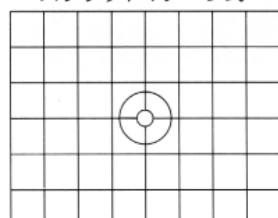
アクセサリ



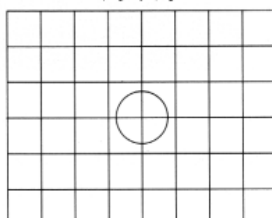
スプリットイメージ式



マット式



格子+マイクロプリズム式



格子+マット式



各種アクセサリと組み合わせて、多様な用途にご使用ください。

● 67用交換フォーカシングスクリーン

標準装備のマイクロプリズム以外に、スプリットイメージ、全面マット、格子+マイクロプリズム、格子+マットの4種類があります。いずれもサービス窓口で交換〔有料〕いたします。標準タイプ同様TTLペンタプリズムで露出が計れます。

〔スプリットイメージ〕

中央の小円の上下像が一致するように合わせます。

〔格子付タイプ〕

水平、垂直のチェックや画面のレイアウトのチェックなどに使えます。格子は、9ミリ間隔です。

● 67用マグニファイヤー

特に厳密なピントあわせをするため、ファインダー視野の中央部を2倍に拡大して見ることができます。



● 67用視度調整レンズ

−5、−4、−3、−2、−1、+1、+2m⁻¹
[毎メートル]の7種があり、TTLペンタプリズムあるいは、ペンタプリズムのファインダーに取り付けます。取り付け方については、26ページをご覧ください。

● 67用正像アングルファインダー

TTLペンタプリズムおよびペンタプリズムの接眼枠に取り付けます。ファインダー視野の全面が見え、横位置でも縦位置でも使えます。

● 67用アイカップ

TTLペンタプリズムやペンタプリズムの接眼枠を一旦外して取り付けます。目の周りからファインダーに入る光をさえぎりファインダーの見えが良くなります。

37



接写、複写用：

67用SMCクローズアップレンズ

67用リバースアダプター

67用オート接写リング

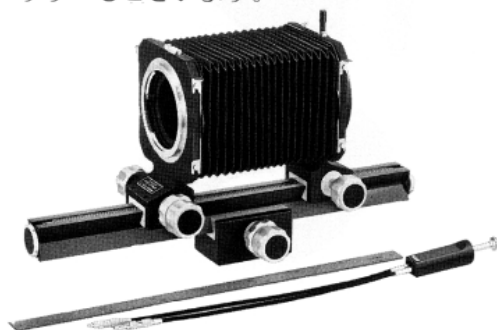
67用ヘリコイド接写リング

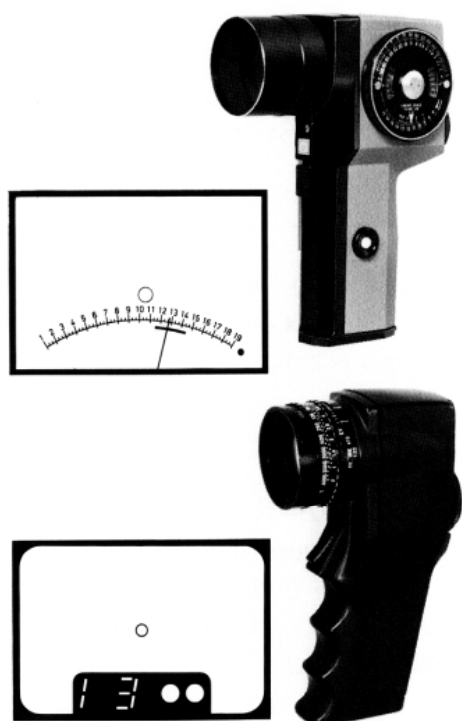
67用オートベローズ

67用スライドコピアー

大型コピースタンドII型、など

簡単なクローズアップ写真から、本格的マクロ写真までいろいろな用途に応じてご使用ください。また、スライドや写真などの複写用アクセサリもございます。





露出計：

スポットメーターV型

デジタルスポットメーター

プロカメラマン、映画、テレビカメラマンのために作られた受光角1度のスポット露出計です。



● 67用グリップ

ストラップ吊り金具とアクセサリガイドピンで取り付けられます。グリップ上部にはアクセサリシューがついています。

● 67用AF400Tブラケット

67にAF400Tオートストロボを取り付ける為のブラケットです。

● ケーブルリリース30、50

長さが30cmと50cmのケーブルリリースです。スローシャッターを切るときの必需品です。いずれもオートストッパーリングが付いており、タイム露出ができます。



● 67用バッテリーコード

カメラの電池をポケットなどで保温しながら撮影できます。

● 67用ストラップ

カメラには付属品として1本付いていますが、山岳写真や航空写真などの撮影時の安全のために1本付けておくこともできます。

● ケース

67 キャリングケース

トランクケース“プロフェッショナルII”

41

取り扱い上の注意

カメラは精密機械です。取扱いには次のようなことにご注意ください。

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでご注意ください。
- 防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- レンズキャップを外した状態でカメラを三脚などに取り付けたまま放置しないでください。太陽光によりカメラ内部を痛めることがあります。

- 強い震動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの震動は、クッションなどを入れて保護してください。
- 三脚ネジの深さは5.5ミリです。これより長いネジを無理にねじ込まないでください。
- 分解や市販の油などの注油はしないでください。故障の原因になります。

- レンズ、ファインダー窓のホコリはブロワーで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- 高性能を保つため、1～2年毎に定期点検をしてください。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には点検や試し撮りをしてください。
- カメラの使用温度範囲は-10℃～50℃です。

- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

こんなときは？【詳しくは、各ページをご覧ください。】

【症状】	【原因・対処】
ミラーが途中で止まってしまった。	電池容量が少ないと安全機構が働き、ミラーが途中で停止して警告します。ミラーを復元させてから新しい電池と交換してください。〔4 ページ〕
T T L ペンタプリズムの露出計が動かない。	スイッチは入っていますか。露出計のスイッチはタイマーが働いて約30秒で切れます。 また、レンズを外さないで、T T L ペンタプリズムをカメラに取り付けると、絞り連動ピンがかみ合わず、露出計が作動しません。〔6 ページ〕
空シャッターが切れない。	6 7 カメラは、フィルムカウンターの1 枚目以降になっていないと、シャッターが切れません。シャッター作動板を利用するなどして、空シャッターを切ってください。〔10～11 ページ〕
ピントが悪い。	圧板の位置は、フィルムの種類と合っていましたか。圧板の位置が合っていないとピント不良の原因になることがあります。〔13 ページ〕
巻き上げが重い。	圧板の位置が220用のままで120フィルムを使用していませんか。120フィルムは220フィルムより厚みがあるので、圧板の位置が合っていないと、巻き上げが重くなります。〔13 ページ〕

【症状】	【原因・対処】
フィルムの頭や終わりで、画面が切れてしまった。	フィルムのスタートマークは、所定の位置に合わせましたか。スタート位置が大幅にずれていると、フィルムの頭出しが合わなかったり、フィルムの終わりで画面が切れる事があります。〔18ページ〕
フィルムの端などに光線かぶりがでた。	フィルムの巻きがゆるんだり、太巻きになってしまうとフィルムとリーダーペーパーの隙間から光が入って光線かぶりが起こる事があります。フィルムの出し入れは慎重に行ってください。〔20ページ〕
シャッターが開いたまま戻らない。	シャッターダイヤルが数字と数字の中間で止まっていますか。長時間露出〔T・タイム〕になっています。〔23ページ〕
ストロボ撮影で画面の一部がケラれてしまった。	67カメラのストロボ同調スピードは1/30秒です。それより速いシャッター速度では画面の一部がケラれてしまいます。また、ストロボを使用するときは必ずXシンクロターミナルへ接続してください。FPシンクロターミナルではストロボが同調しません。〔32ページ〕

交換レンズ一覧表

種 類	レンズ名	(焦点距離)(明るさ)	構成枚数	絞り方式	画角	測光方式	最短距離〔m〕	最小絞〔F〕	最大径×長さ〔φmm×mm〕	重 さ〔g〕	フィルター〔mm〕	備 考
魚 眼	SMC ペンタックス67フィッシュアイ	35mm F4.5	7群11枚	自 動	180°	開放	0.45	22	102×73	900	4種内蔵	
超広角	SMC ペンタックス67	45mm F4	8群9枚	自 動	89°	開放	0.37	22	91.5×57.5	485	82	
広 角	SMC ペンタックス67	55mm F4	7群8枚	自 動	78°	開放	0.35	22	92.5×78.5	725	77	
	SMC ペンタックス67	75mm F4.5	4群5枚	自 動	61°	開放	0.7	22	91.5×81	560	82	
	SMC ペンタックス67シフト	75mm F4.5	8群9枚	プリセット	61°	絞り込み	0.7	32	97×106.5	950	82	
標 準	SMC ペンタックス67	90mm F2.8	5群7枚	自 動	53.0°	開放	0.65	22	91.5×49	480	67	
	SMC ペンタックス67	105mm F2.4	5群6枚	自 動	46.0°	開放	1.0	22	91.5×60	590	67	
中望遠	SMC ペンタックス67	165mm F2.8	5群6枚	自 動	30.0°	開放	1.6	22	91.5×98.5	830	67	フード組込み
	SMC ペンタックス67LS	165mm F4	4群5枚	自 動	30.0°	開放	1.6	32	92.5×77	780	77	○
	SMC ペンタックス67	200mm F4	4群5枚	自 動	25.0°	開放	1.5	32	92.5×135	795	77	
望 遠	SMC ペンタックス67	300mm F4	5群5枚	自 動	17.0°	開放	5	45	93×186	1,430	82	フード組込み
	SMC ペンタックスM*67ED(IF)	400mm F4	9群9枚	自 動	12.5°	開放	2.8	45	133×305	3,700	67	フード組込み
	SMC ペンタックス67	500mm F5.6	4群4枚	自 動	10.2°	開放	8	45	107×398	3,200	95	フード組込み
	SMC タクマー67	600mm F4	5群6枚	クリック	8.5°	絞り込み	12	45	170×370	6,000	77	フード組込み
超望遠	SMC ペンタックスM*67ED(IF)	800mm F6.7	8群9枚	自 動	6.4°	開放	8	45	150×565	6,500	67	フード組込み
	SMC タクマー67	800mm F4	6群6枚	クリック	6.4°	絞り込み	20	45	236×611	17,700	77	フード組込み
	SMC レフレックスタクマー67	1000mm F8	6群9枚	—	5.1°	絞り込み	35	—	180×352	6,600	77	6種内蔵 フード組込み
マクロ	SMC ペンタックス67マクロ	135mm F4	3群5枚	自 動	36.5°	開放	0.75	32	91.5×95	620	67	
ソフト	SMC ペンタックスソフト	120mm F3.5	3群4枚	手 動	40.5°	絞り込み	約0.75m	22	89×63.5	520	77	

○印のレンズはレンズシャッター〔LS〕を内蔵しています。

SMCペンタックスM*800mm・F6.7ED〔IF〕レンズは、専用のリアコンバーターT-5 1.4×を組み合わせると、焦点距離1120mm・F9.3の超望遠レンズとして使えます。

※ ED＝特殊低分散ガラスを用いた色消しレンズ、IF＝インナーフォーカス

型式 ———— 6×7判一眼レフカメラ
 使用フィルム ———— ロールフィルム
 120タイプ・10枚撮り
 220タイプ・20枚撮り
 画面サイズ ———— 55×70ミリ
 レンズマウント ———— 専用ダブルバヨネットマウント
 〔内爪、外爪〕
 シャッター ———— 電子制御式フォーカルプレーンシャ
 ッター
 シャッター速度 ———— 1〜1/1000秒、X、B
 ファインダー ———— 交換式、ボディ側視野率100%
 【別売り】
 アイレベルファインダー〔TTLペン
 タプリズム、ペンタプリズム〕
 視野率90%、像倍率1.0×〔105mm、∞〕
 視度−1m⁻¹〔毎メートル〕
 フォーカシング
 スクリーン ———— マイクロプリズム式
 ミラー ———— スイングバック式クイックリターン
 ミラー、ミラーアップ機構付き
 巻き上げ ———— レバー式〔巻き上げ角180°、予備角
 10°〕スタートマーク合わせによる
 オートマツ式、セルフコッキング

フィルム
 カウンター ———— 自動復元順算式
 シンクロ ———— XおよびFPターミナル
 〔JIS B型〕
 ストロボ同調 ———— X、1/30〜1秒、B
 電源 ———— 6V 4LR44形アルカリマンガン電池、
 または4SR44形酸化銀電池 1個
 バッテリー
 チェック ———— 押しボタン式ランプ表示
 大きさ ———— 177〔幅〕×101〔高〕×91ミリ〔厚〕
 〔ボディのみ〕
 177〔幅〕×152〔高〕×91ミリ〔厚〕
 〔TTLペンタプリズム付き〕
 質量〔重さ〕 ———— 1.29kg 〔ボディのみ〕
 1.76kg 〔TTLペンタプリズム付き〕
 付属品 ———— ボディマウントキャップ、ファイ
 ンダーキャップ、ストラップ、シャ
 ッター作動板

お問い合わせは次の各サービス窓口へ

■営業時間：●ペンタックスフォーラム

午前10時30分〜午後6時30分
 (原則として年末年始を除き年中無休)

●各サービスセンター 午前9時〜午後5時(土・日・祝日休業)
 ●ペンタックスファミリー



ペンタックスフォーラム
 (ショールーム・写真展・修理受付)
 ☎03(3348)2941代
 〒163-0401
 東京都新宿区西新宿2-1-1
 新宿三井ビル1階(私書箱240号)



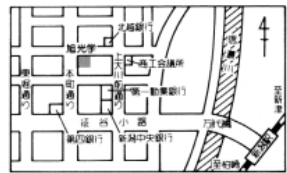
東京サービスセンター
 ☎03(3571)5621代
 〒104-0061
 東京都中央区銀座西8-10
 (土橋交差点交番並び)



札幌サービスセンター
 ☎011(612)3231代
 〒060-0010
 札幌市中央区
 北10条西18-36
 ペンタックス札幌ビル4階



仙台サービスセンター
 ☎022(371)6663代
 〒981-3133
 仙台市泉区泉中央1-7-1
 千代田生命泉中央駅ビル5階



新潟サービスセンター
 ☎025(224)8391代
 〒951-8067
 新潟市本町通7番町1153
 新潟本町通ビル4階



横浜サービスセンター
 ☎045(681)8771代
 〒231-0032
 横浜市中区不老町1-6-9
 横浜エクセルントVビル3階



静岡サービスセンター
 ☎054(255)6308代
 〒420-0868
 静岡市伝馬町24-2
 住友建設ビル5階



名古屋サービスセンター
 ☎052(962)5331(代)
 〒461-0001
 名古屋市中区泉1-19-8



大阪サービスセンター
 ☎06(6271)7996(代)
 〒542-0081
 大阪市中央区南船場1-17-9
 パールビル2階



広島サービスセンター
 ☎082(234)5681(代)
 〒733-0035
 広島市西区南観音3-5-2
 空港通りビル6階



福岡サービスセンター
 ☎092(281)6868(代)
 〒810-0802
 福岡市博多区中洲中島町3-8
 パールビル1階

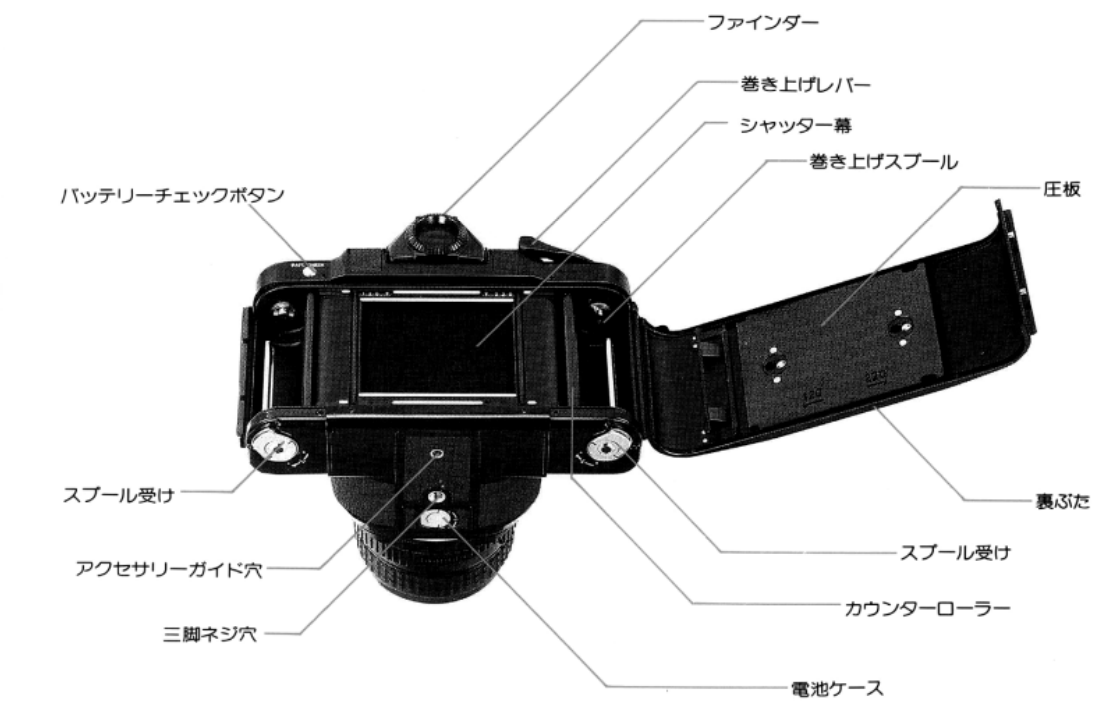


お客様相談室
 ☎03(3572)6479
 〒104-0061
 東京都中央区銀座西8-10
 (土橋交差点交番並び)



ペンタックスファミリー(写真クラブ)
 ☎03(3580)0336
 〒100-0014
 東京都千代田区永田町1-11-1
 三宅坂ビル3階

ペンタックスファミリーのご案内
 ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。
 お申し込み・お問い合わせは上記ペンタックスファミリー事務局まで。



- ・旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリが展示され、お手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
 - ・他社製品〔レンズ・アクセサリ等〕との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。
1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店が使用説明書に記載されている最寄りの当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口へ直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のフィルムやプリント、また故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
 2. 保証期間中〔ご購入後1年間〕は、保証書〔販売店印および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
 3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・使用上の誤り〔使用説明書記載以外の誤操作等〕により生じた故障。
 - ・当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
 - ・火災・天災・地変等による故障。
 - ・保管上の不備〔高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等〕や手入れの不備〔泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等〕による故障。
 - ・保証書の添付のない場合。
 - ・販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。
 4. 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
 5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
 6. 海外旅行をされる場合国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。〔保証期間中のみ有効〕



旭光学工業株式会社

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9

ペンタックス販売株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1